

臨床化学研修会報告書
生涯教育研修会報告書
学発番号 第 12-045 号

平成 25 年 1 月 15 日報告
報告者：後藤 直樹
所属：京都保健衛生専門学校
連絡先：075-801-2571

主題：臨床検査分野 研修会
主題 1：「過酸化水素／POD 系および NADH／脱水素酵素系の基本」
講師 1：今田 貴之 氏（協和メデックス株式会社）
主題 2：「日臨技精度保証認証制度と ISO15189、CAP 認定との違い」
講師 2：藤本 一満 氏（ファルコバイオシステムズ総合研究所）

日時：平成 24 年 12 月 18 日（火） 18:30～20:30
場所：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
分類：臨床化学部門 4 検体検査 52 20 点
全体参加人数：14 人
京臨技会員参加人数：8 人
他府県会員参加人数：0 人
学生参加者：0 人
仮会員参加人数：0 人
非会員参加人数：0 人

以下、講演内容など

主題 1 「過酸化水素／POD 系および NADH／脱水素酵素系の基本」

現在臨床化学で用いられている測定系の多くは過酸化水素-POD 系か NADH-脱水素酵素系の 2 つである。過酸化水素-POD 系の特徴は可視部での測定、還元物質で負誤差がある。NADH-脱水素酵素系は紫外部での測定、還元物質の影響がない。こういった特徴がある。今回は実際の測定原理を示し、具体的にどのような影響があるのかをわかりやすく説明いただいた。

主題 2 「日臨技精度保証認証制度と ISO15189、CAP 認定との違い」

ファルコバイオシステムズ総合研究所の藤本氏に話をいただき、日本臨床衛生検査技師会の山本慶和氏にも出席いただいた。近年、医療機関では、医療の質の向上を目指して、日本医療機能評価機構や国際標準化機構（ISO）などの外部評価を受ける施設が多くなっている。それに伴い、臨床検査室においても品質マネジメントシステムの構築と検査データの質の向上が求められるようになってきた。日本臨床衛生検査技師会では施設較差是正のために、「日本臨床衛生検査技師会臨床検査データ標準化事業」として組織的に「精度保証施設認証制度」が推進されてきた。この「日臨技精度保証認証制度とISO15189、CAP認定について、具体的な例を提示していただき違いを説明していただいた。